

令和4年10月7日

石巻市議会議長 安倍 太郎 殿

会 派 名 公明会

代表者氏名 会長 渡 辺 拓 朗

## 調査報告書

調査した概要は次のとおりであります。

### 記

- 1 調査者氏名 渡 辺 拓 朗  
櫻 田 誠 子  
鈴 木 良 広
  
- 2 調査期間 令和4年9月27日から  
令和4年9月30日まで 4日間
  
- 3 調査地 (1) 石川県能美市  
・子育て支援事業について、辰口中央児童館の現地視察  
  
(2) 岐阜県飛騨市  
・消防団との連携によるLINEを活用した避難率向上の  
取組について  
  
(3) 岐阜県各務原市  
・岐阜かかみがはら航空宇宙博物館の現地視察

## 4 目 的

### (1) 石川県能美市

- ・子育て支援事業について、辰口中央児童館の現地視察

能美市は石川県の南部、加賀平野のほぼ中央に位置し、県都金沢へは北東約20kmの距離にあり、南には日本海側の拠点「小松空港」がある小松市が隣接している。西部に白砂青松の美しい海岸線を有する日本海を望み、中央部には標高2,702mの霊峰白山から流れ出る手取川と梯川に挟まれた扇状地、そして東側には白山山系に連なる能美丘陵が美しい稜線を描いており、海・山・川・平地の自然に恵まれた、非常に豊かな地勢である。

平成17年に能美郡根上町、寺井町、辰口町が新設合併して能美市が発足した。

能美市は、子育て世帯を応援するまちとして、18歳までの子どもの医療費（保険診療分）の窓口無料化や、保育園は生後2か月児から受入れ、病後児保育など充実した保育サービスを提供している。また、すべての小学校区に児童館と放課後児童クラブが設置されている。

本市でも、18歳まで子ども医療費助成等の支援を実施しているが、能美市では、小学校区に必ず1つの児童館の設置と併せて、児童館に放課後児童クラブを設置する等、子育て支援の充実を図り、合計特殊出生率は1.5と全国平均を上回っていることから、能美市の子育て支援の取り組みについて研修し、今後の本市の子育て支援を推進する参考とする。

### (2) 岐阜県飛騨市

- ・消防団との連携によるLINEを活用した避難率向上の取組について

飛騨市は、岐阜県の最北端に位置し、北は富山県、南は高山市、西は白川村に接しており、県庁所在地の岐阜市から約150km、高山市の北約15kmに位置している。

周囲は3,000mを越える飛騨山脈などの山々に囲まれ、総面積792.53平方キロメートルの約93%を森林が占めている。年間を通しては、平均気温11度で四季の移り変わりを肌で感じることができ、とても自然に恵まれた地域である。

平成16年2月1日に、古川町、河合村、宮川村、神岡町の2町2村が合併し、飛騨市が誕生した。

飛騨市は、飛騨市公式LINEやメールにより、避難情報等を通知している。

洪水や土砂災害で避難情報発令の可能性がある場合は、事前に避難準備情報を通知しているが、今後避難情報の発令が予測され、その後実際に発令された場合に、市民の方がすばやく避難行動がとれるよう、避難の準備を促すものである。

また、避難情報等は、対象となる地域を絞って通知している。

本市でも、LINEによる災害情報等を通知しているが、飛騨市の取組について研修し、今後の本市事業推進の参考とする。

### (3) 岐阜県各務原市

#### ・岐阜かかみがはら航空宇宙博物館の現地視察

各務原市は国内の航空産業においてその歴史は古く、平坦な地理的な条件においては国内の航空産業の歴史と共に滑走路が整備され労働力も豊富なことから軍事産業が1920年代後半から盛んであった。このような環境から大戦以前から日本軍航空機部隊があり現在では航空自衛隊の岐阜基地となっている。この航空博物館の建設のきっかけになったのも戦後の航空機開発の中心基地となっていることから使用されなくなった実験機の格納がきっかけとなった。

科学技術立国の我が国にとって今後も航空宇宙産業は重要な産業となることから各務原市の発展や人材の育成にこの博物館がどのような役目をはたしているのか、また盛んになる航空宇宙産業において松島基地が隣接する本市においても関連企業誘致の可能性と環境づくり、さらには石巻市においても博物館が建設されたが今後の展示の在り方についての考察を含めた想いも秘めながら視察研修を受けた。

## 5 調査概要

### (1) 石川県能美市

#### ◆ 子育て支援事業について、辰口中央児童館の現地視察

##### 【概要】

<子育て支援施設の運営>

#### 1. 認定こども園

公立の保育園 14 園は、平成 27 年度から全て「保育所型認定こども園」として運営。

#### 2. 児童館

合併時に 14 館あった児童館を統廃合し、5 児童館を新築。現在 10 児童館を運営。

#### 3. 放課後児童クラブ

児童館等の 13 カ所で運営。令和元年度、新設された辰口児童館に併設した放課後児童クラブを新設。

#### 4. 病児保育センター

コロナ禍で、利用者が減ったが、病児保育人数は 336 人。病後児保育利用者は 5 人と少ない。病児支援が重要である。

#### 5. 子育て支援センター

保育園や幼稚園に通っていない親子を対象に、育児の悩みや不安などの相談を受け付けている。

#### 6. 子ども発達支援センター（令和 3 年実績：相談 3,229 件）

発達に心配のある子どもや不安のある保護者が相談できる施設。

#### 7. 子育て支援サービス

乳幼児・児童医療助成事業

令和 3 年度実績：延べ 44,374 人。事業費総額 198,457 千円

平成 31 年 4 月診療分から柔道整復師及びあん摩マッサージ指圧師、はり、きゅう師の施術に係る療養費を現物給付の対象に拡充。

#### 8. 妊産婦医療費助成事業

令和 3 年度実績：実人数 179 人。3,964 千円

母子健康手帳交付後、出産日翌月末日までの妊産婦に対し、妊娠・出産での疾病に対する医療費（保険診療の自己負担分）を助成。

#### 9. のみっこすくすく助成券支給事業

令和 3 年度実績：対象人数 610 人。8,446 千円

乳幼児を養育する方に、紙おむつ、粉ミルクまたは乳児用液体ミルクを購入できる助成券を支給し、育児に係る経済的負担を軽減します。

支給額：第 1 子 12,000 円分（月 1,000 円×12 カ月分）

第 2 子 24,000 円分（月 1,000 円×24 カ月分・1 年分ずつ支給）

第 3 子以降 48,000 円分（月 2,000 円×24 カ月・1 年分支給）

支給方法：助成金（1,000 円券）綴りを交付

有効期間：出生から満 2 歳の誕生日まで（第 1 子は、満 1 歳誕生月まで）

## 10. 子どもの学び支援事業

(令和3年度実績：延べ110人。274千円)

学習支援を希望するひとり親家庭に対し、ボランティアが毎月1回または長期休暇中に学習支援や居場所の提供を行い、ひとり親家庭のサポートを行う。

## 11. 子育て情報サポート事業

子育てコンシェルジュの配置

SNS（フェイスブック）を使った情報発信

子育て支援サイト「能美市ママフレ」による情報発信

令和4年10月より子育て支援アプリ「ハブハグ」（母子モ）に移行した。

### 【所感及び市への政策提言等】

本市でも、子育て支援策について、取り組んではいるが、震災後、更には、コロナ禍の中で、出生率が激減している。能美市でも、出生率は減少しているが、それほどの減少ではない。

能美市が力を入れているのは、保育ニーズが増大し多様化する中で、2019年に5つの柱を重点施策として掲げ、その一つとして「子育て・住環境の充実」を提唱。子どもの発達や保護者の就労を支援し、安心して子育てできる環境づくりに力を入れている。

また、児童館を小学校区に1つは設けるなど、多くの子ども達の交流の場として、また、世代間交流や親子ふれあい活動の拠点として位置づけ、昨年の年間利用者はコロナ禍の影響があり制限があったが、11カ所の児童館で4万人ほど。本市では1カ所しかないため、今後財源の問題などあるが、児童館の設置も望まれる。

また、病児保育のニーズが大きく、病後児よりも、病児の受入を今後検討して頂きたい。出産祝いに関して、物価高騰で、紙おむつなども値上がりしている。今後、能美市を参考に、紙おむつや、ミルクの購入ができるようにチケットの支給などを考えることも必要になってくると思われる。

子育て支援センターの相談事業や、子ども発達支援センターでの相談事業は、臨床心理士などが配置され、多くの相談が寄せられ保護者の安心につながっている。

更に、相談事業では、母子保健と学校が繋がりにくいことから、福祉、学校、保護者の連携を図り、相談が充実しているため、相談件数が増えている。子育ての不安や悩みに、しっかりと寄り添えるように、相談事業の充実が必要と実感する。本市でもさらに、相談事業の拡充を図り、少子化が著しい本市の子育て支援になお一層の取り組みをして頂きたいと思う。

(2) 岐阜県飛騨市

◆ 消防団との連携による LINE を活用した避難率向上の取組について

【概要】

～それまでの災害時の体制・状況～

- ・災害時は、防災対策室と消防団は別で活動。
- ・市側は市役所で、消防団は消防署で対応。
- ・市長は消防署にいる消防長から報告を受けて指示を出し、消防長は消防団長に相談し、消防団の対応を決める。
- ・消防団側は主に無線や電話での報告。
- ・消防団各分団では普段から連絡に LINE を使用していた。
- ・対策室と消防団は離れた場所にいるため、どうしてもタイムラグがあった。

➡ 方面隊本部 2 名が市役所待機を始めた。

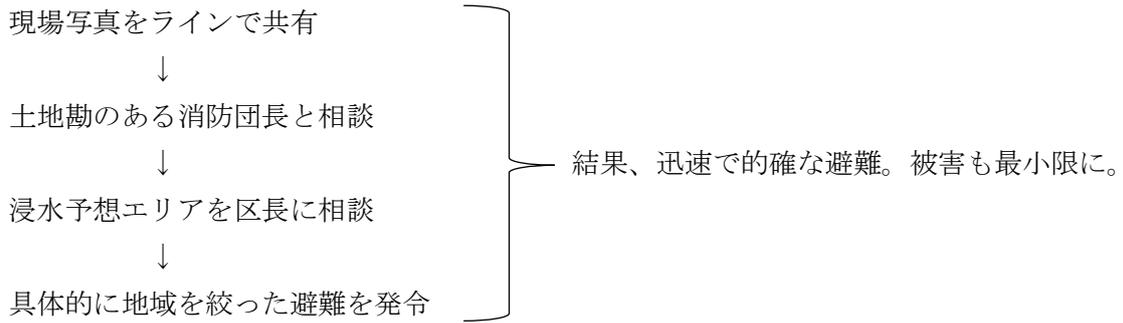
～当時の体制・状況～

- ・のちに平成 30 年 7 月豪雨と呼ばれる、2018 年（平成 30 年）6 月 28 日から 7 月 8 日にかけて、西日本を中心に北海道や中部地方を含む全国的に広い範囲で発生した、台風 7 号及び梅雨前線等の影響による集中豪雨。
- ・隣の高山市では 7 月 7 日、72 時間の雨量が観測史上最高の 490mm を記録。
- ・飛騨市内でも 7 月 4 日～7 日にかけて連日の大雨となり、1 時間の最大雨量が 62mm に達する日もあるなど近年にない状況となった。
- ・古川地区でも 2 番目に人口が集中する地区である杉崎地域内を流れる太江川（1 級河川）は、各支流からの流入水を受けて水位が増え続けていた。
- ・太江川は市街地を通るため、氾濫すると周辺の住宅に被害を及ぼす危険性が高まっていた。
- ・杉崎地区を所管する消防団第 3 分団は現地の警戒を繰り返し、厳戒態勢に入っていた。
- ・市には区長などから随時状況報告が入ってきていたが、主に言葉による情報伝達だった。
- ・県の河川情報などはあるが、支流河川の状況までは不明。
- ・消防団方面隊の本部ライングループには各分団長からの情報が入り始めていた。
- ・写真等による状況報告があり、リアルに現地の状況を伝えていた。

～行政区の状況～

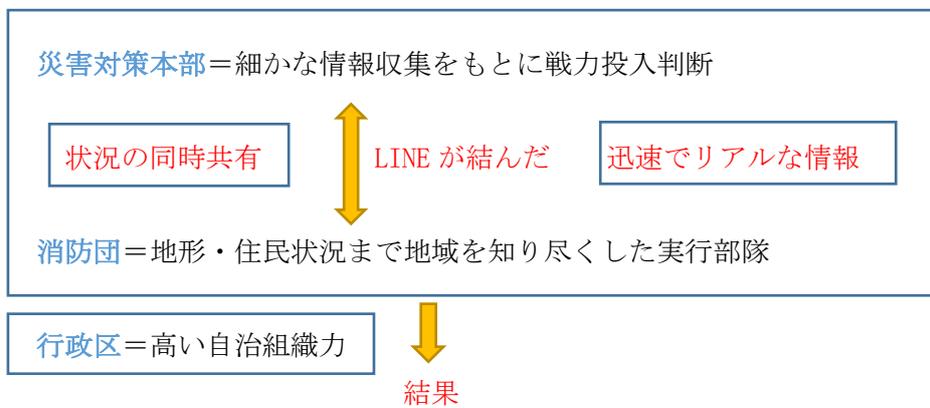
飛騨市内で 105、古川町内で 43 の自治的組織である行政区がある。代表は区長。古川町では特に区長の力が強く、普段から区長を筆頭として所管エリアの維持管理、清掃、行事、それらに伴う連絡など多岐にわたる活動が組織的に日常的に行われている。その関係から区長には一定の権限がある。例えば冬季の道路除雪の追加要請は区長からのみ依頼を受けつける。

防災対策本部のやりとりを見ながら考える。文字から想像するものは人それぞれ違う。それよりも現場そのものの写真や動画をリアルに共有したらいいのでは。



飛騨市は県下最高の避難率となったことがのちの県の検証で判明し、地元紙にも掲載された。さらに、SNSでの連携を含めた災害対応が総理大臣表彰につながった。

## まとめ



のちに県下一と言われる住民避難率の高さを実現した  
 対策本部から消防団への直接要請はこれまで例がない

### 【所感】

祖父や親世代から消防団員としての活動が地域的に根付いており、火災に限らず災害への備え（意識）は高いと感じた。また、地域住民のコミュニティも形成されており、災害時においては共助の体制がとられているように感じた。視察地では高齢化率の高さが課題であることから、住民への的確な情報伝達と早めの避難を呼びかけられるようSNSを活用した災害対応の取組は大変に参考になった。

### 【市への政策提言等】

災害が多い現代、いかに早く正確な情報伝達出来るかがポイント。本市でも防災無線やLINEによる災害情報等の通知などで周知を図っているが、聞こえづらいことやSNSを使わない世代への対応など課題は多い。ICTが進化している時代。誰もが素早く正確な情報を得られる体制づくりが必要と考える。（災害情報と共に、最寄りの避難所を案内したり、家族の安否と位置情報を共有できたりするシステムの構築）

(3) 岐阜県各務原市

◆ 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館の現地視察

【概要】

〔施設概要〕

敷地面積 78,206 m<sup>2</sup>

延べ床面積（1～2 F）12,192 m<sup>2</sup>

年間入場者数約 26 万人

1階 航空エリアはコンセプトを人類の空に挑んだ物語、航空技術の変遷が分かる展示。

2階 宇宙エリアはコンセプトを人類の宇宙への挑戦史、宇宙開発技術の変遷が分かる展示。

（コンセプト） 「先人の空・宇宙への憧れ、挑戦の物語を伝え次世代を担う子供たちにチャレンジスピリットと感動を与える博物館」

〔ソフト事業の展開〕

企画展の開催—航空宇宙分野の最新の話題、動向を合わせた「企画展」を定期的に行う。人材の育成—体験教室、特別講座の開催。

〔海外博物館との連携〕

貴重な資料の貸与による博物館の魅力向上、人的交流を通じた運営能力の向上のため積極的な海外連携を推進。

（主な連携実績）

- ・スミソニアン航空宇宙博物館—四式重爆撃機「飛龍」のエンジン及び貴重な資料、映像。
- ・サンクトペテルブルク博物館—世界初の人工衛星「スプートニク1号」の実物大模型展示。
- ・スミソニアン航空宇宙博物館との連携でボランティアガイドツアーの運営方法や展示手法の提供。
- ・市内の子供 40 名が参加する「子供テレビ会議」でモスクワ宇宙飛行士記念博物館と交流。

【所感及び市への政策提言等】

国内において航空宇宙をテーマにした博物館は各務原市の1施設であり、その展示の規模と内容に感動した。このような存在感からも年間 26 万人（日平均 800 人）という入場者数を誇る。観光ルートになっていることや修学旅行生や児童、園児の遠足や学習旅行先にもなっており視察当日も開館前から大型バス複数台が到着していた。

会議室で一定の説明を受けてから館長の案内で約 70 分かけて見学させていただいたが、興味の有無に関わらず最低 2 時間は必要な展示内容である。理系の方なら最低半日は必要と感じた。博物館の存在による地域への貢献度は観光客や学習旅行等の誘致が大きく航空宇宙産業の地元人材輩出という点につなげる調査はしていないとのことであったが、実物

から伝わる迫力と感動は全国から見学に来た子供達に間違いなく大きな感動と将来へのインパクトを与えているに違いない。

ソフト事業として世界の博物館等と交流を図りながら世界に一つしかない貴重な資料の展示で全国からの見学者の誘致にもつなげている。本市の博物館の今後の展示内容や交流人口策としても是非、この博物館とも交流を図りながら搬送可能な展示物を活用できないか模索していただきたい。戦後の航空機技術の発展の為、自衛隊岐阜基地が試作機の滑走路に使われたことによる関連企業の誘致の促進に至った事を考えると、本市に隣接する航空自衛隊松島基地の今後の利活用に向けて観光戦略も含め今後も粘り強く議会で提言していきたい。

経営状況を確認するために質問を用意していたが、帰途に就く時間が迫り年間維持費のみ確認できた。4億円とのことであったが、本市と同じ人口規模で年間予算は本市より約100億少ない530億円でこのような施設を運営できることに不思議さを感じ、帰ってきてから各務原市の経営状況の概要を調べてみた。各務原市は地理・歴史的にコンパクトなまちづくりになっており、市職員行政部門職員数は570人と本市の2分の1以下に当たり、さらに平均給料も全国580位と意外と低いことに気づいた。このよう環境がおそらくこの博物館の経営を支えていると確信すると共に、人口減少社会の今後の本市の職員の適正化にも参考とすべきである。

7 調査経費 262,100円

8 添付書類 別添資料のとおり

---

---

#### お問い合わせ

石巻市議会事務局 議事調査係

〒986-8501 宮城県石巻市穀町14番1号

Tel : 0225-95-1111 (内線 6916)

Fax : 0225-96-2274

Mail : [assesc@city.ishinomaki.lg.jp](mailto:assesc@city.ishinomaki.lg.jp)